



# MUTSUMI GROUP

医療法人むつみホスピタル広報誌

2021.06号

入社式  
新人紹介  
開院記念式典



# 入社式

## 理事長挨拶

皆さん、おはようございます。本日、18人の新入職の皆さんが、私達むつみホスピタルの一員となられ、新年度が始まるようとしていることに、私自身がワクワクしております。

冒頭ご覧いただいた映像は、皆さんの先輩の普段の働き方そのものです。決して楽なことばかりではありません。しかし、私たちは、この精神科医療、支援に関わる仕事にやりがいを感じ、誇りを持ってチームとなり取り組んでいます。



現在、新型コロナウイルスのパンデミックにより世界中が混乱に陥っています。当院のような精神科病院は感染に対して脆弱といわざるを得ません。事実、全国でクラスターが発生し、ご存知の通り、鳴門の精神科病院、南海病院で現在クラスターが発生しています。そこへの支援、地域DPATの一員としてしらせ病棟三木田師長、すだち病棟藤丸看護師が救援に向かいたいと自ら手を挙げてくださっています。この場をお借りして彼らを讃えたいと思います。そのような素晴らしい先輩方が当院にはたくさんいます。新入職の皆さんも、先輩方を目指して、見習って日々切磋琢磨して欲しいと思います。とはいっても、初めての職場、新しい環境下で、何をすべきか、どうすべきか、分からないことだらけではないでしょうか。

今日はここで、二つのお話をしたいと思います。

一つ目は、私自身の話です。私は皆さん以上に、本当に何も分からない状態で社会人になりました。しかも毎晩夜間だけで措置患者が4、5人入院するような、戦場のようなストイックな職場に入職しました。そして当時最も厳しいことで有名な医師が指導医でした。同期が次々と仕事を任される中、「お前にはまだ早い」と言われ、担当患者さんさえつけてもらえませんでした。また、「ストレッチャー持ってきて!」と看護師さんに言われても、ストレッチャーって何?という状態で、どうにもなりません。病気のことは勉強していても、実践的な用語が分からない、そして患者さんに接することもできない研修医一年目の私は、「とにかく先輩方の役に立つことはなんでもやろう」と心に決めました。

自由になる時間は全てナースステーションにいて、かかってくる電話を1コール以内に全てとって引き継ぐことを仕事にしました。指導医の診察の陪席では、医師と患者が喋る全ての言葉を書きおこして、カルテ記載することにしました。終業後は先輩方が書かれた論文や著書を読み漁りました。徐々に周囲からも認められ仕事を任せてもらえるようになり、退職する際には、その指導医から、「優秀なやつから自分で道を見つけて巣立っていく。それでいいんだ、頑張れ」と餞の言葉を頂きました。



二つ目は、長男の幼稚園の前の道路で交通整理をしているおじさんの話です。長男の健の卒園式の写真に、妻と健、そのおじさんのスリーショットの写真が混ざっていました。疑問に思った私は、なんでそんな人と写真を撮ったの?と妻に聞きました。すると「多田さんと最後に写真が撮れて本当によかった」というのです。交通整理のおじさん、多田さん??頭の中は??だらけになりましたが、話を聞いて深く納得しました。そのおじさん、登園してくる親子一人一人に満面の笑みで毎日挨拶されるそうです。そればかりか、全ての園児と母親の名前と顔を暗記していて、名前を読んで挨拶してくれる。そして、交通整理がひと段落してからは、園庭で遊ぶ子供達のことを温かく見守っているそうです。そして、迎えにきたお母さん方に、「今日健くんは園庭でこんなことして遊んでいましたよ」とか「転んで泣いたけどすぐに泣き止みましたよ」とか報告してくださるそうです。卒園式の日、そのおじさんと写真を撮る親子達で行列ができていたそうです。

職歴や職種は関係ありません。社会人一年目だとしても患者さん、同僚、そして地域のために、今日から皆さんにもできることがあるはずです。指示を待つだけではなく自分の頭で考え、皆で共有して行動し、一緒にむつみの道を歩んでいきましょう。

# 院長挨拶

入職されました皆さん、おめでとうございます。今年もまた、この桜が満開の季節、入社式では皆さんのフレッシュな気持ちに触れることができ、私自身も身の引き締まる思いをしております。

当院は昭和34年4月16日に「医療法人睦み会城西病院」として開院し、間もなく62年目を迎えますが、現在まで、歴代の管理者、職員、関係者の方々のたゆまぬ努力があり、県下でも有数の精神科病院として地域に貢献しております。

世界は、昨年からのコロナ禍により日常生活が破壊されており、様々な面で我慢を強いられている状況です。患者さんや家族の方には面会や外出・外泊を制限させてもらっていますし、職員の皆さんにも昨年は、例年行っていた慰安旅行や、多人数での会食、歓送迎会や忘年会などを中止し、不要不急の外出の自粛をお願いしました。



この状況においても我々は医療従事者としてなすべきこと、できることは何かを常に考えて決断し、行動せねばなりません。皆さん一人一人の公私における意識が非常に重要になります。

また、当院のサテライトクリニックである、ビオスクリニックも3月末をもって閉院しました。困難で多様な変化が求められる時代、臨機応変な対応が求められています。

さて、皆さんには是非、当法人の理念を今一度読み返していただきたいと思います。「むつみの道をともに歩み、人生をより豊かなものとし、今を語り合って生きる」。

この、むつみの道は3つの道から成っています。第一の道は「こころの病を患う人々の回復への道」、第二の道が「仲睦まじい組織への道」、そして第三の道が「偏見のない穏やかな世界への道」。今日、私から皆さんにお願いしたいことがあります。第一の道の中で、「一人ひとりの物語に温かく寄り添う」という言葉が示されていますが、これは具体的にはどういうことなのか、皆さんには是非、この1年でそれぞれの答えを見つけてください。第三の道に示されているように、「人は宝」です。磨けば磨くほど光り輝く大切な宝です。切磋琢磨しながらお互いを磨き合い、他者から信頼される医療従事者になって欲しいと思います。

最後になりますが、今日から皆さんと一緒に働けることを、私も楽しみにしております。皆さんとの出会いを大切にして、医療法人むつみホスピタルが精神科医療の発展に益々貢献できるよう、力を合わせて頑張りましょう。



# mutsumi staff introduction

23名の新人スタッフを紹介！

うらた ゆうな

浦田 悠菜

ひとこと：師匠（先輩）に鍛えられています。  
部署：やまもも病棟  
好きな芸能人：小栗旬・市原隼人・三浦春馬  
好きな食べ物：アイスクリーム  
好きな言葉：見かけたら気軽に声をかけて下さい！



おかむら みゆ

岡村 美佑

ひとこと：仲良くしてください。  
よろしくお願いします。  
部署：すだち病棟  
好きな芸能人：相葉雅紀  
好きな食べ物：おすし  
好きな言葉：平和



からと だいき

唐渡 大紀

ひとこと：まだまだ慣れないことも多いですが頑張ります！  
部署：相談・地域連携室  
好きな芸能人：宇宙海賊ゴージャス、ポピーオロゴン  
好きな食べ物：ハンバーグ、カレーライス、オムライス  
好きな言葉：ありがとう



しゅんどうすずな

春藤 鈴菜

ひとこと：1日1日、頑張ります！  
部署：総務  
好きな芸能人：嵐・櫻井翔  
好きな食べ物：ラーメン・辛いもの  
好きな言葉：臨機応変



そまとものおゆき

袖友 伸行

ひとこと：4/1に入職しましたが、おかげさまで元気に頑張っています。  
これからもご指導のほどよろしくお願いします。  
部署：うずしお病棟  
好きな芸能人：綾瀬はるか  
好きな食べ物：グラタン  
好きな言葉：継続は力なり



たうえ ななみ

田上 七海

ひとこと：笑顔でがんばります！！  
部署：総務部  
好きな芸能人：BLOOM VASE  
好きな食べ物：チョコレート  
好きな言葉：ありがとう



かまだ ゆき

鎌田 悠希

ひとこと：精神科や外来での勤務は初めてですが、笑顔を忘れず頑張ります。  
部署：外来  
好きな芸能人：田中圭、高橋一生  
好きな食べ物：お寿司、マカロン  
好きな言葉：Follow your heart



なるたき あか

鳴滝 未夏

ひとこと：仕事頑張ります。  
部署：しらさぎ病棟  
好きな芸能人：中村トオル  
好きな食べ物：ネギトロ  
好きな言葉：ありがとう



さわぐち まい

澤口 真依

ひとこと：よろしくお願いします。  
部署：しらさぎ病棟  
好きな芸能人：Aimer、Snow man  
好きな食べ物：焼き鳥 チョコ  
好きな言葉：なんとかなる



やました ゆうこ

山下 裕子

ひとこと：全力で頑張ります！  
部署：心理室  
好きな芸能人：見取り図  
好きな食べ物：いくら、ユッケ  
好きな言葉：笑う門には福来る



なるたき あか

鳴滝 未夏

ひとこと：仕事頑張ります。  
部署：しらさぎ病棟  
好きな芸能人：中村トオル  
好きな食べ物：ネギトロ  
好きな言葉：ありがとう



まつしたたかひろ

松下 高宏

ひとこと：頑張りますので見ててください  
部署：あい病棟  
好きな芸能人：竹中直人、富田鈴花  
好きな食べ物：マンゴーラッシー  
好きな言葉：不屈不撓



なかにし あきのり

中西昭憲

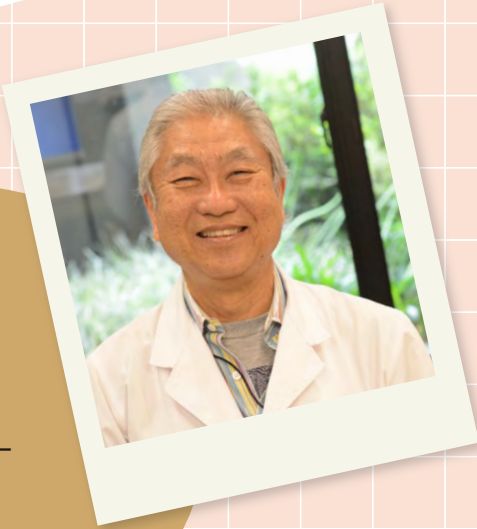
ひとこと：なるようになる！

部署：医局

好きな芸能人：マリリン・モンロー

好きな食べ物：野菜サラダ

好きな言葉：勝手にしなはれ！



こたに はるこ

小谷治子

ひとこと：小児科医ですが、よろしくお願いします。

部署：医局

好きな芸能人：ハリソン・フォード・斎藤工

好きな食べ物：粉もの（たこ焼き、お好み焼き）

好きな言葉：利他、まあいいか。



とみおか ゆきこ

富岡有紀子

ひとこと：現在漢方の勉強をしています。よろしくお願いします。

部署：医局

好きな芸能人：特になし

好きな食べ物：うどん、唐揚げ、オムライス

好きな言葉：敬天愛人、色即是空



あべ ゆかり

阿部 由佳梨

ひとこと：たくさん学びたいです。

よろしくお願いします

部署：しらさぎ病棟

好きな芸能人：綾野剛

好きな食べ物：唐揚げ

好きな言葉：一期一会



きのした まこと

木下 誠

ひとこと：暑いのが苦手です。

部署：医局

好きな芸能人：タモリ

好きな食べ物：ジンジャーエール

好きな言葉：No attack no chance



くさか ゆうた

日下 裕太

ひとこと：むつみホスピタルの為に頑張ります

部署：リハビリテーション室

好きな芸能人：木村 文乃

好きな食べ物：ラーメン

好きな言葉：他力本願



もり けいこ

森 敬子

ひとこと：内科です！

部署：医局

好きな芸能人：さかな君

好きな食べ物：カレーライス

好きな言葉：・・・



すぎの かずたか

杉野 和孝

ひとこと：人生は仲間作り、企業はファン作り

部署：総合企画部

好きな芸能人：志村けん

好きな食べ物：焼き鳥

好きな言葉：人生の転機は気づいた日



すぎの ちえ

杉野 智恵

ひとこと：明るく元気に頑張ります！

部署：あい病棟

好きな芸能人：竹野内豊

好きな食べ物：焼きそば

好きな言葉：念ずれば花開く



ふじわら ゆうすけ

藤原 悠輔

ひとこと：みなさん、よろしくお願いします！

部署：うずしお病棟

好きな芸能人：館ひろし、吉川晃司

好きな食べ物：みかん

好きな言葉：一人はみんなのために みんなは一人のために



こやま

小山 ひかる

ひとこと：早く仕事覚えます!!

部署：総務部

好きな芸能人：中村倫也

好きな食べ物：お米・中華

好きな言葉：一期一会



ふくら

福良 ひな

ひとこと：頑張りますので

よろしくお願いします。

部署：リハビリテーション室

好きな芸能人：おぎやはぎ

好きな食べ物：チョコレート

好きな言葉：一日一善



# 開院記念式

## 概要

令和3年4月17日、法人並びに病院設立の62年周年をお祝いして開院記念式典が新館2階スタッフコモンズにて執り行われました。理事長からの挨拶に続き永年勤続の表彰がありました。

### 勤続20年

米田 照代 殿 栄養管理室

### 勤続10年

|          |        |
|----------|--------|
| 森 綾乃 殿   | 心理室    |
| 島崎 由佳 殿  | すだち病棟  |
| 高橋 光子 殿  | あい病棟   |
| 空峯 小夜子 殿 | すだち病棟  |
| 松田 茂子 殿  | 栄養管理室  |
| 長澤 昂志 殿  | うずしお病棟 |



### 第一の道

こころの病を患う人々の回復への道  
部門

|         |            |
|---------|------------|
| 新居 貴文 殿 | リハビリテーション室 |
| 與儀 耕大 殿 | 心理室        |
| 中妻 清志 殿 | リハビリテーション室 |
| 谷口 高宏 殿 | うずしお病棟     |
| 秋山 広美 殿 | やまもも病棟     |
| 松本 好恵 殿 | うずしお病棟     |



### 第二の道

仲むつまじい組織への道  
部門

友成 幸代 殿  
郡 輝彦 殿  
あすなる委員会  
(宮田 有佳 殿・近藤 幸子 殿・  
川井 隆弘 殿・清水 ひとみ 殿・  
横畠 貴志 殿・大江 佳子 殿・  
八木 美紀 殿・森 綾乃 殿・  
上野 安未 殿・小笠原 仁美 殿・  
瀬戸 好子 殿・井関 沙和 殿・  
高島 菜摘 殿)

### 第三の道

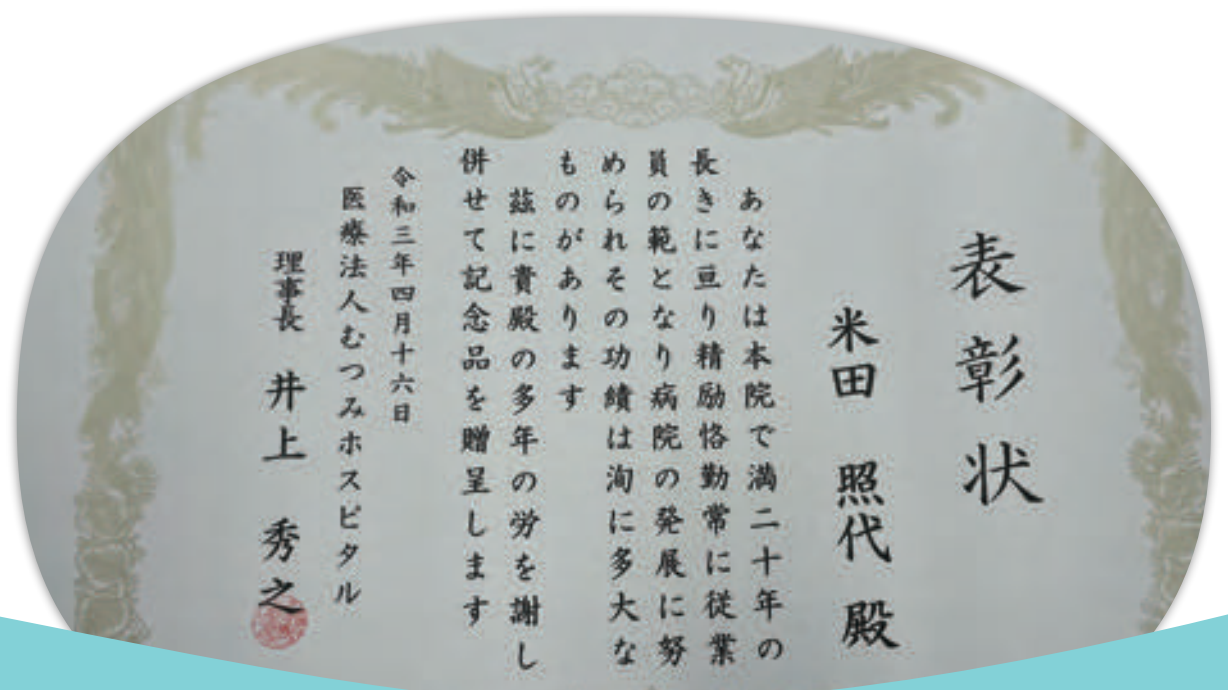
偏見のない穏やかな世界への道  
部門

ビオスクリニック外来  
(竹岡 里紗 殿・澤口 博美 殿・  
緒方 麻友子 殿・鎌田 ひめり 殿)

院長からの祝辞に続き、永年勤続を代表して森 綾乃から謝辞があり、式典は終了しました。

副院長・看護部長からの祝辞の後、サプライズとして勤続10年にあたる理事長に、スタッフ全員からの感謝状が、前理事長から贈呈されました。

引き続き、功労者表彰として、むつみアワードが贈呈されました。



2021年4月16日

# 理事長挨拶

皆さん、改めておはようございます。正直に申しますと、私は、過去を忍んだり、懐かしんだりすることがあまり得意では、好きでは有りません。よくいわれることですが、過去や歴史を論理的に分析し、そこから学ぶことは大いにあるわけですが、立ち止まってしまい、過去に囚われたり、昔話ばかりしては、未来に向かって歩んでいけないからです。しかし、そんな私でも、今日くらいは過去に思いを馳せたいと思います。

ご存知の通り今日は、法人の設立記念日、病院の62回目の誕生日だからです。沿革をご覧ください。正確には1959年4月1日、当法人の前身、医療法人睦み会が設立され、まさに今日病院が開院しました。しかし、設立直後から経営が成り立たなくなり、融資先などを通して、経営の立て直しを打診されたのが、当時大阪で商社を営んでいた私にとっては祖父の井上由松でした。

当初は、大阪での仕事の片手間にやれば良いと考えていたようですが、始めてみると病院の経営は本当に大変で、とても片手間にできるものではないと判断し、家族で徳島に引っ越してきたそうです。

その当時を振り返った、祖母の記録が残っています。**城西病院50年史・2010年**より抜粋です。

「五十年前に私ども一家は徳島・南矢三町の城西病院の内に移り住んでまいりました。はじめの住居は昔の二病棟(現二病棟あたり)として建てられた木造三階建の一部、まだ患者さんの入っていない病室、和室大部屋に炊飯器など置いて暮らしました。小、中学校に通う子供らは患者さんたちとピンポンをしたり、野球をしたり、時にはノイローゼの大学生に勉強を教えてもらうこともあったようです。私どもに医学の知識がなかったから、かえって精神科に対する偏見もなく、障がい者との心のバリアフリーをいう現在の時代を先取りしたような、草創期の精神病院でした。」

こうした創業時の精神は、おそらく現在に至るまで脈々と受け継がれてきているのではないのでしょうか。ざっと現在まで遡ってみましょう。1968年、現在、名誉院長でいらっしゃる小谷雄二先生が院長に就任されました。1988年、井上和俊先生が理事長に就任されました。1998年に現在も使用している本館が竣工しました。様々なことがありましたが、2017年、現執行部にバトンが渡されました。そして、2019年、新病棟オープン「医療法人むつみホスピタル」として新たにスタートしています。

この間、本当に多くの皆さんのお力添えがあって、今こうしてこの日を迎えられています。その事に深く感謝したいと思います。

本当に皆さんありがとうございます。

それでは表彰に移りましょう。



# 副院長祝辞

創立62周年にあたり、僭越ではありますが一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。私は、長い歴史のある病院の一員として働かせていただいていることに、心より感謝しております。

勤務させていただいて目にしたのは、素晴らしい施設と年を重ねても現役医師として働かれている名誉院長や高野先生、妹尾先生、イキイキと働いている若いコメディカルの皆さんの姿でした。輝いて見え感銘を受けました。半面、看護部は少し元気がないように感じました。しかし、現在は、水を得た魚のように生き生きと働く看護部の姿を楽しみながら働いています。



先生方、現役スタッフと同じように再雇用で働いていてくださる皆さん、縁の下の力持ちとして私たち医療職を支えてくださる事務職の皆さん、本当に優しくて力のある方々のいる病院だと思います。このことを実感したのは、病院機能評価受審を短期間で取り組み、高い評価を得て見事合格したことです。チームワーク良く、マニュアルの整備や病棟ラウンド、プロセス評価に取り組むことができました。

これも、本日永年表彰や功労表彰を受けられる皆様や諸先輩方が培ってこられた城西病院からむつみホスピタルに引き継がれむつみマインドによるものだと思います。



コロナ禍、先の見えない不安はたくさんありますが、これからも、素晴らしい伝統を引き継ぎ、ますます発展できますよう皆様方と一緒に努力していきたいと思います。

最後になりましたが、本日表彰を受けられる皆様、おめでとうございます。これからお互い心身とも元気で、一緒に頑張っていきましょう。

簡単ではございますが、お祝いの挨拶とさせていただきます。



# 院長祝辞

表彰された皆さん、おめでとうございます。本日、表彰された方々はもとより、職員の皆さんには、日頃から当法人の発展ならびに地域医療への貢献にご尽力くださり、一言、御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。また、4月11日から5日間の日程でクラスターが発生した南海病院の支援に、三木田さん、藤丸さんが行かれました。このお二人は当法人の誇りです。この場を借りて感謝の意を表します。

さて、当院は本日、開院62年目を迎えました。この近年を振り返ってみると、一昨年は、新館のオープンがありました。昨年は新型コロナウィルスの流行に苦慮した一年でした。そして今年は、ビオスクリニックを閉院し、職員の皆さんの働き方も週休2日制を導入し、勤務時間も変更いたしました。社会的にもそうですが、当院としても突然の変更を余儀なくされる出来事が続いています。

また、新型コロナウィルスについては、N501Yというイギリス型変異株の影響を受けて昨年以上に感染が広がっている状況です。当院でも来週からワクチン接種が始まりますが、接種が進んでい

るイスラエルやイギリスで発症や重症化を予防する効果が確認されています。県立中央病院でもクラスターが起きましたが、ワクチン接種を済ませた医療従事者の感染は今のところ確認されていません。やむを得ない理由がある方以外は、是非、皆さんに接種して欲しいと思います。

幸いにして、昨年からは当院では一人の感染者も出さずに経過しています。大変厳しい状況ですが、この中で自分たちにできることは何かを考え、引き続き皆さんには当事者意識を持って行動して欲しいと思います。一緒に力を合わせて、素晴らしい1年にしていきたいと思います。

# 永年勤続表彰者代表 森綾乃

## 謝辞

本日、むつみホスピタル開院記念の式典に際し、永年勤続表彰を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。受賞者を代表いたしまして、一言、感謝の言葉を申し上げます。

私共が、今日まで大過なく勤めさせていただけたのも、ひとえに理事の皆様をはじめ、諸先輩方、同僚のみなさまのお力添えのおかげと感謝いたしております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。日々の生活が変わり、働き方の見直しが求められ、誰もが不安と恐怖を抱えた生活を余儀なくされる中、「誤った情報に振り回されないこと」、「感染対策を徹底すること」の重要性を、先生方が繰り返し説いてくださいました。

はっきりと方向性を示してくださったことで、心が軽くなったことを覚えております。また、理事長先生が年頭所感で述べられていた、コロナ禍で炙り出されたのは「もともと存在していた問題点」であり、「開けない夜はない」ので「ゆっくりと前へ」歩んでいこうというメッセージを受け、現状を悲観せず、気負わず、仲間とともに考え、進んでいけば良いと気づき、安心して日々の業務に取り組むことができました。

このように心強い先生方に加え、この1年余りのあいだ、一人も感染者を出すことなく本日を迎えることが出来た信頼できる仲間とともに、このむつみホスピタルで精神科医療に従事できることを、心から嬉しく、誇らしく思います。

本日の表彰を機に、受賞者一同は、むつみホスピタルの発展のため、より一層の努力をいたす所存でございます。今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。



 **MUTSUMI GROUP**

 **MUTSUMI HOSPITAL**

 **HOT LIVING** デイケア  
ほっとリビング

 **BIOS** 相談支援事業所  
ビオス

 **WHISPER**  
自立訓練事業所 ウィスパー

 **NEXT** B型作業所  
ネクスト

Restaurant  **BIOS**